

再任が決まった愛知教育大学長 ^の ^だ ^{あつ} ^{のり} 野田 敦敬さん(65)



来年4月から2年間、愛知教育大（愛知県刈谷市）学長として再任が決まった。教員のなり手不足が深刻化する中、「教員の立場の向上に取り組みたい」と話す。そのためには社会の理解が欠かせず、「学外の多様な人に参加してもらい、学生を育てるカリキュラムを展開したい」と意気込む。

同大学院で理科教育を研究した後、名古屋市の小学校教諭に。児童の成長を実感する充実した日

この人

々だったが、学生時代の恩師から同大の研究者の公募に申し込むように請われた。「教諭が楽しいので嫌です」と断ったが、勤務先の校長からも「挑戦しないと後悔する」と背中を押され、14年間の教諭生活を経て助教授に転身した。

副学長などを歴任し2020年4月に学長に就くと、「子どもの声が聞こえるキャンパス」を打ち出した。児童らの参加を募り、学生たちが企画したイベントなどを大学内で催す。子どもと触れ合う面白さを感じ、教員になる意欲を高めてもう狙いだ。

大学は前身の愛知県養成学校も含めて今年で150周年。この間に時代は明治から令和へ移ったが、「国の根幹は今も変わらず人づくり」と説く。（諏訪慧）